

- 1 開催日時
開会 令和5年9月19日(火) 午後1時30分
閉会 令和5年9月19日(火) 午後1時55分
- 2 開催場所
県庁10階 教育委員室
- 3 教育長及び出席委員
佐藤 一 男 教育長
新妻 二 男 委員
畠山 将 樹 委員
宇部 容 子 委員
小野寺 明 美 委員
泉 悟 委員
- 4 説明等のため出席した職員
佐藤教育長、菊池教育局長、坂本教育次長兼学校教育室長
西野教育企画室長兼教育企画推進監、武藤義務教育課長、中村高校教育課長、大森教職員課総括課長、
菊池保健体育課総括課長
教育企画室：菊池主任主査、高橋主事（記録）
- 5 会議の概要
 - 第1 会期決定の件
本日一日と決定
 - 第2 事務報告1 令和6年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜の概要について（学校教育室）
別添事務報告により説明

泉委員：事務説明会をオンデマンドで開催したのは、コロナが要因でしょうか。以前は集まって行っていたものをオンデマンドにした目的を伺いたいです。

武藤義務教育課長：コロナの対応でインターネットによる動画配信は始まりましたが、県外から受験する生徒さんもいるという実情を踏まえまして、引き続きこのような形で行いたいと思います。

泉委員：県外から受験する生徒というのは、今県外にいるが通学時は岩手県内にいる生徒ということによろしいですか。

武藤義務教育課長：そのような生徒さんだと思います。

泉委員：オンデマンドで見た視聴者数は、カウント可能ですか。

武藤義務教育課長：可能でございます。

泉委員：年々倍率が下がってきている実態があるということで、附属中学校の周知を図る機会を設けたら良いのではないかという話も以前の会議で出てきましたので、このオンデマンドによってその視聴数が今までの集合時の人数よりも増えて、そして関心を持ってくれる小学生が少しでも増えるのであれば、このままの形をとったほうが良いと思います。

武藤義務教育課長：ありがとうございます。今年度はコロナが5類移行になったということもありまして、学校説明会を7月に参集型で行うことができました。その学校説明会の効果もここに上手く乗って、少しでも志願倍率が高くなるという願いも込めて我々も取り組んでいるところです。

新妻委員：適正検査で英語を出題するというのは、英語の教科化が始まった年代の児童が卒業するタイミングに合わせたという理解でよろしいですね。

武藤義務教育課長：新妻委員おっしゃる通りでございまして、今年度、現行の学習指導要領が小学校で全面実施になった令和2年度に3年生だった子供たちが受験する令和6年度入試から、検査内容に含めるという確認で昨年度まで準備を進めてきている経緯がございます。

第3 事務報告2 令和5年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について(保健体育課)

別添事務報告により説明

第4 事務報告3 第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)の結果について(学校教育室)

別添事務報告により説明

第5 議案第24号 令和6年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて(教職員課)

別添議案により説明

宇部委員：定期人事異動方針については異存ありません。教員志望者の減少や、中堅層の教員が少ないなどの課題がありますが、地域間のバランスや定年延長も含め、職員構成にご配慮いただいたものと思います。学校訪問でも、地域ごとの課題に真摯に取り組む教員の姿を見ることができました。特に義務教育では、身近にいる教員は手本であり憧れでもありますので、全世代の職員がそれぞれの持ち味を生かして、若い教員を育てていく環境が整うことを願っております。

大森教職員課総括課長：今ご指摘をいただいた通り、教育界をめぐる様々な課題に対応する一つ的手段として人事異動があるものと思っています。個々の学校を見るとさらに課題があるわけですが、そういった課題を一つ一つ学校長や教育委員会等の話を聞きながら、少しでも良い体制が築けるように、細部にわたってしっかりと人事配置を検討して参りたいと思います。

小野寺委員：宇部委員と同意見です。変更理由のところに「すべての教職員が働きやすい職場環境づくりを進める」と書いており、これに尽きるのではないかと思います。年齢、性別、経験にかかわらず、すべての先生方がやりがいを持ち、持っている力を存分に発揮してくださるように人事配置をお願いしたいと思います。私は、日頃からの対話やヒアリングが大事だと思っています。学校の業務だけではなく、先生ご自身の悩み事や困り事にも耳を傾け、心配りが必要だと思っています。決して厳しいだけの仕事ではなく、子供の成長を見守れる素晴らしい職業だと感じられる働き方になってもらえればと思っています。

大森教職員課総括課長：ありがとうございます。毎年年度当初、校長先生が各職員と面談を行うわけですが、そういったときに仕事の悩みだけではなく、家庭上の悩みや病気など、幅広く教員の状況についてしっかり把握してほしいという話をしております。そういった対話の機会を通じて、教職員の困り事や目指すことなどを把握していただいて、それに沿った研修や校務分掌を担っていただくということが、満足度を高める一つのきっかけになるのではないかと思います。校長先生をはじめ、学校の管理監督者の方にはそういった取り組みをお願いをしておりますし、加えて、我々は校長先生、副校長先生から話を聞き、小中学校においては、市町村教委、教育事務所も入って個々の職員の事情を十分聞き取って、1人でも多くの教職員が前向きになれるよう、取り組んでいきたいと考えております。

新妻委員：私も賛成です。前の協議会の時の表現を変えていただき、「すべての教職員が働きやすい環境」ということで、これは今小野寺委員の話にあったように年齢とか経験年数の違いや性別、性の多様化等へ様々な配慮をしながら、とにかくすべての教職員が働きやすい環境づくりをするということだと思います。この表現が適当ではないかと思います。ありがとうございました。

大森教職員課総括課長：前回の協議会で様々重要なお示唆をいただきまして、改めて検討いたしました。すべての教職員が働きやすい職場というのは、体調面が思わしくない方、年齢が高い方、中には障がいを持っている方もいらっしゃいますので、そういったすべての方にも働きやすい職場と考えています。働き方改革プランも今検討しておりますが、個々の教職員、課題を抱えている職員にも配慮しつつ、その働きやすい職場の実現に向けて取り組んで参ります。

原案どおり決定

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。